

事業名 **家庭教育講演会**

趣 旨 子どもが健やかに成長するために、家庭を大切にする社会を目指して、家庭教育の重要性と父親の積極的家庭教育参加を促し、家庭教育支援の充実を図る。

実施主体 三条市教育委員会

共 催 三条市PTA連合会

参加対象 小・中学生を持つ保護者、または家庭教育に興味のある方

参加者数 174名

回 数 1回 日 数 1日 時 間 2時間

場 所 三条市中央公民館

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月12日（水） 午後7時～9時	『学校を知り、そして連携しよう』 子どものために手をつなぐ ～ 学校への“イチャモン（無理難題要求）” のウラにあるもの ～	大阪大学大学院教授 小野田 正利
	内容 ・ 方法	近年の「学校への無理難題要求の急増」を緊急の課題と捉え、その実態把握とともに打開策の検討をしている講師による、学校・教職員・保護者の自己反省や励ましにつながる講演会	

成 果

- アンケートの結果によると、実際にあった話を交えながら、わかりやすい言葉と愉快かつエネルギッシュな講演に感動した参加者が多く、わかっているようでわかっていないこと、理解しているようで理解できていないことなど、今まで聞いたことのない内容で学校の先生方の苦労がわかったとの保護者も多かった。
子どものよりよい成長の為には、教職員と保護者がお互いに要望や批判をしたりする“敵”の関係ではなく、お互いに“手をたずさえる”関係が重要であり、子どもを中心として物事を考えていけば、共通の理解が得られるはずだと納得できる機会になったことがうかがえる。

課 題

- 今回の講師は、知名度の高い方であり、会場の定員を超える申込みがあるかもしれないとの主催者側の判断から、学校を通じて参加者を取りまとめ、広報については、市のホームページ掲載と報道機関への情報提供にとどめた。しかしながら、開催当日は、500人定員の会場の3分の1程度に止まってしまった。市のホームページを見て、遠くは関西から聴講に来場するという学生もいたので、今後は、どんなに著名な方を招くとしても、その参加者数を侮ることなく、市の広報紙・ホームページへの掲載、報道機関への情報提供等を広く早めにしていく必要がある。

問合せ先 新潟県三条市教育委員会生涯学習課生涯学習係（TEL：0256-45-1113）